

## 横瀬から琴平丘陵をたどり岩井堂へ

ハイキング同好会 服部昌樹

4月の月例ハイキングは、4月18日(火)、芝桜が見頃の羊山公園を經由して琴平丘陵をたどり、影森まで歩行距離11km、最高標高398mの比較的緩やかなコース。今回は5名の参加。5名なので1台の車で行ける。久しぶりの同乗メンバーもあり、横瀬駅近接駐車場まで車中にぎやかな出発となった。

8:50 駐車場を出て歩き出す。9:20 芝桜の丘宇根口に着く。300円の入場料を払って見頃の芝桜の丘に入る。平日のまだ朝早い時間なのに結構な人が入っている。このところTVでこの芝桜の丘がニュースで取り上げられていたせいだろうか。



30分程度園内を歩き、琴平丘陵の林の中に歩き出す。陽が若葉に当たり、新緑が輝く。空気がうまい、目にフレッシュグリーン。なんと贅沢な時間だろう、そして、その中を歩ける健康と一緒に歩いてく

れる仲間感謝する。(実は筆者はひどい花粉症持ち、先週半日屋外を散策したらひどい状態になったので今回もこわごわ外を歩き始めたが、意外に水洩も出ず、くしゃみもない…、飛散はもう終わったか、これから歩けるぞ!)



シュウニヒトエ

道端の草や樹木の名前を覚えて貰いながら新緑のトンネルを歩く。新しい名前を一つ覚えると一つ忘れる。ひょっとしたら2つ以上忘れていないかもしれない。ヒメウツギ、ツクバネウツギ、シュウニヒトエ、フタリシズカなどが今日の成果だが、次回まで覚えているだろうか。



11 時前、少し早いですが食事をする。食事場所はかたい堆積岩が水平にせり出した崖のうえ。女性たちはその端っこに座る。怖くないらしい。僕なら、〇〇がチジミ上がるのだが。崖の上に風が吹きあがる。少し寒い。暖かいコーヒーが美味しい。40分ほどで食事を切り上げ、また丘陵を歩きだす。ごつごつした岩や鉄製の階段を経由して 12:00 岩井堂へ着く。崖の途中のテラス状のところに建っている。良く建てたものだと感心する。建立時期は書かれていないが、帰って調

べると 18 世紀半ばらしい。興味ある扁額があった。「秩父宮側」が奉納している。さて「側」の意味は何だろう。普通に考えれば奉納者の名前が書かれているはずだから「側室」と理解するしかない。兄の昭和天皇には「側室」はいなかったことは確からしいが、秩父宮はどうだろう。帰ってネットで調べるが、はっきりは分からない。明治天皇にはいたことがはっきりしている。大正天皇は？・・・興味深いテーマ、誰か研究して HP に載せてくれませんか。



12:40 岩井堂を経てふもとの大淵寺に着く。まだ早い。近くの秩父鉄道影森駅から一区间列車に乗って西武秩父まで行くか、歩いて西武秩父駅まで行くか、みんなと相談する。まだ余力を残していたらしく、どちらでも・・・との返事。それで西武秩父駅まで歩くことに。1 時間かけて西武秩父駅に着く。電車は出たばかり、30 分ほど待って横瀬駅・近接駐車場に戻る。今日はハイキング中、多くのハイカーに出会った。みんな我々のようなシニアグループだ。季節がいいことや芝桜につられ、多くのシニアが外に出ていたようだ。まだ、外歩きに最適な時期は続く、また行こうね。次回は仮に 5 月 16 日(火)、大岳山とする。

以上